

令和7年度 第1回倉吉市いきいき長寿社会推進協議会(議事録)

○議題(1)第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

施策① 在宅生活支援体制の確立

委員からのご意見等	事務局の回答
(A委員) <p>P.5「生活支援の体制づくりの促進」の今後の方針について、明倫地区と社地区がサロンの設置地区となっている。私は灘手地区の谷の出身だが、灘手地区も設置されているのか？</p> <p>日頃から感じているが、こういった場があっても、元気な高齢者でも出られない方がある。こういった方が出席されるように仕向けることが一番大事だと思う。</p>	(事務局) <p>話し合いの場については、灘手地区も設置されています。サロンについては、灘手地区の谷のように設置されていない集落がまだまだあります。</p> <p>話し合いの場があっても参加されない方がおられることが課題だと認識しますので、こういった方に参加していただけるような取り組みが必要だと考えています。</p>
(B委員) <p>P.5「高齢者福祉サービスの充実」の敬老事業について、主旨は地域住民が高齢者の福祉への関心と理解を深めることを目的に行っている事業であり、令和元年から見ているが、地区の意向に合わせたとの記述が変わっているため、主旨に沿った取り組みが進むよう検討してもらいたい。</p>	(事務局) <p>主旨としては変わりありませんが、表現の仕方で誤解が生じているかと思います。</p> <p>市が一律に参集型・記念品の贈呈といった取り組みを決めるのではなく、各地区の実態に合わせて実施していただくというので、主旨を念頭に置いて取り組みをしています。</p>
(C委員) <p>P.5「生活支援の体制づくりの促進」の市全体の課題の把握について、どういった形でされているのか。それに対して、どういった形で政策決定がされているのか教えてもらいたい。</p>	(事務局) <p>各地区の生活支援コーディネーターとの毎月の連絡会にて、第2層の各地区の生活支援コーディネーターからの報告と、その場で市の職員と第1層の生活支援コーディネーターとで話し合いをしていますが、なかなか市全体の課題の取り組みまで発展できていないところです。</p> <p>昨年度は、第1層の協議会を1回開催していますが、今年度は定期的に開催する等、回数を増やして、具体的な取り組みに繋げていけたらと考えています。</p>
(C委員・続き) <p>そういう協議会に、包括が関わっているといったことはないか。</p>	(事務局) <p>協議会には、包括の方にも関わっていただいている。</p>

令和7年度 第1回倉吉市いきいき長寿社会推進協議会(議事録)

○議題(1)第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

施策② 高齢者が活躍できる場づくり

委員からのご意見等	事務局の回答
(A委員) P.5 の内容になるが、地区の敬老会が数年前からなくなった。地区内の他の集落の方と触れ合える絶好の交流の場がなくなったことが残念だと思っている。今後、敬老会を復活させるとか考えているのか。	(事務局) 敬老事業は、参集型にするか、記念品の贈呈にするか、地区の実態に合わせて実施していただいている。 再開されるところがあるかどうかは、地区の判断によります。他の集落の方も集まってというのは良いことだと思いますので、できれば作っていただきたいという思いはあります、各地区の実態もありますので、難しいかと思います。
(A委員・続き) 記念品だけ配れば良いというものではないと思う。私はできるだけ復活させていただきたい。	(事務局) 敬老事業は市の委託事業として、参集型を想定して各地区に実施していただきましたが、令和5年度から補助事業として、各地区の主体的な取り組みに対して市が応援するといった形に変更しました。 その結果、各地区で実情に応じた取り組みを考えただく形になり、コロナ禍が明けて参集型でされる地区も出てきていますし、記念品を贈呈することで敬意を評する地区もあります。市としても思いはありますが、各地区で協議していただきながら良い取り組みにしていただければと思います。
(A委員・続き) 市が音頭を取って、参集型ですることを前提とすれば、各地区も参集型を目指して取り組むのではないか。	(事務局) 参考意見として承ります。
(D委員) P.8「高齢者が活躍できる場づくり」について、現場で皆さんと一緒にやり取りをしているのは各地区のコミセンや自治公民館で、小鴨地区では高齢化率は30%で、参加者の7、8割が高齢者であり、そういった各地区的コミセンの実態とうまく連携・PRされてはどうか。 市の職員も人数や体制で大変だと思うので、福祉の話、コミセンでの文化活動や体育について、各地区も同じようなことを高齢者が主となって動いている。それをもうちょっとピックアップして、サロ	(事務局) 各地区の取り組みにおいては、高齢の方が中心となって、地域の支え手として活躍いただいているので、そういった動きと協調して取り組みを進めたいと考えています。 各地区の生活支援コーディネーターが関わっていますが、受け持ちのエリアが大きいこともあって、きめ細かなところで出来ていないこともあります、そういう地域の動きと合わせながら、高齢者が活躍の場、参加できる場を作っていくたいと考えています。

令和7年度 第1回倉吉市いきいき長寿社会推進協議会(議事録)

<p>ンの立ち上げや新規の集落ではなくて、実際にやっているわけだから、もっとうまく表現されたら、実態に即した市の方針と現場がつながるのではないか。</p>	
<p>(C委員)</p> <p>各自治会でいろいろな取り組みがあり、いろいろな人に役割りを持っていただきながらといったところについて、男性の方はそういった取り組みに出られないイメージがあるが、男性の方に送迎の役割りをしていただいて、出られない方を迎えてあげて、その方も一緒に参加してもらうといった仕掛けを作りながら、参加者を増やしていくけるような音頭を取ってもらえたと思う。</p>	<p>(事務局)</p> <p>男性の参加が少ない現実があります。男性の方に特化した内容でのサロンや取り組み等をしていますが、一方で、サロンまでの交通手段がない方もおられて、なかなか共同交通、乗り合わせもうまくいっていない現状もあります。</p> <p>男性の方に乗り合わせとか支援していただけるような仕組みができれば素晴らしいことだと思います。</p>
<p>(B委員)</p> <p>自治公エリアで行われている福祉活動の主な推進者は老人会やサロンの自主的な運営者、とても気の良い方が主体的に活躍している。そういう場では、人を集め努力をされて、それなりの成果がある。そういう事情もあって、なかなか後継者がいない。そのことを言っても仕様がないので、活躍しておられる方がのびのびと活動できるような支援が必要と感じている。</p> <p>地区エリアですることから一歩進んで、自治公エリアでどんなことをしていったら良いのか、たぶんサロンのことや答えは出ていると思うんですけど。それを自治公が担当するのか、それとも住民の有志の方がもっと活躍できるような形にするのかで異なるてくる。</p> <p>自治公はいろいろな仕組みがあって、福祉まで…といった意識が強いので難しいと思うが、人材としては高齢者が自らの手で活躍できるようなシステムを盛り上げてもらえた嬉しい。地域づくりの担い手として活躍できるようにという主旨のとおり、もっともっと活躍してもらえるのではないか。</p> <p>地域づくりの担い手という良い言葉があるので、この点を活かしてもらいたい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>地域包括ケアシステムの推進にあたっては、地域の方が担い手になっていただくことが重要で欠かせないことだと認識しています。担い手の方の負担が少しでも減らせるよう、頑張っていただけるよう、これからも支援していきたいと考えています。</p>

令和7年度 第1回倉吉市いきいき長寿社会推進協議会(議事録)

○議題(1)第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

施策③ 健康寿命延伸に向けた介護予防の充実

委員からのご意見等	事務局の回答
(意見等なし)	-

○議題(1)第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

施策④ 認知症との共生と予防

委員からのご意見等	事務局の回答
(副会長) 認知症に特化した予防と介護予防が別々になり過ぎていると感じる。認知症も普通の健康管理として、認知症の捉え方や啓発の仕方を変えていかないか。	(事務局) 認知症に対する抵抗や偏見をなくすよう周知をしていくとともに、一般の介護予防に認知症に関する事項を取り込んでいくよう考えています。

○議題(1)第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

施策⑤ 成年後見制度の利用促進と権利擁護の充実

委員からのご意見等	事務局の回答
(E委員) 成年後見人の養成講座を受けた後に活動されている方はどれくらいいるのか。きちんと支援まで繋がっているのか。 身寄りのない方への支援が必要な方が増えてきて、各地でいろんな取り組みが始まられているが、倉吉市はそういった取り組みを始めているのか。	(事務局) 市社協に成年後見人養成講座を委託し、これまでに 64 名が修了し、14 名の登録者のうち 9 名が活動されています。これまで 18 件を担当され、現時点で 15 件の後見活動をしていただいている。 身寄りのない方への支援について、身寄りのない方に関する課題について把握はしており、関係機関と対応を検討していますが、倉吉市としては具体的な取り組みをできていないのが現状です。
(副会長) 次の計画に向けての意見として、高齢者虐待の防止も元々は権利擁護支援になるが、取り組みをしていく中で少しずつズレてきているように感じる。認知症への偏見自体の方が権利侵害になる。 消費者被害防止は権利侵害ではなく、どちらかというと元気な高齢者の予防や生活支援に入るべきではないか。	(事務局) 次期計画を策定する際の参考にさせていただきます。

令和7年度 第1回倉吉市いきいき長寿社会推進協議会(議事録)

○議題(1)第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

施策⑥ 高齢者のニーズに適した住まいの確保

委員からのご意見等	事務局の回答
(副会長) <p>身元保証・家賃補助に係る支援制度を利用したかったけど、審査が通らなかった理由は？そんなに厳しい審査なのか？</p> <p>いろいろな制度ができてきて、市民は何でも行政にやってもらおうと思っている。これは行政ではどうしようもないことなので、自分たちが元気なうちにきちんと考えておくことを PR した方が良い。</p>	(事務局) <p>審査の内容については、中身まで把握しておりません。</p> <p>保証会社に聞いても理由まではなかなか教えてくれないことが多い状況です。建築住宅課にも確認しております。</p> <p>保証人等の対応について、役所に頼めばしてくれるといった誤解が広がらないようにしなければいけないと思います。本当にどうしようもない時は市が何らかの対応をすべきだと思いますが、その辺りも考えながら周知していきたいと思います。</p>
(F委員) <p>支援制度の審査に通らなかった人は、その後どのような対応がされるのか？</p>	(事務局) <p>審査が通らなくて保証がない場合、市営住宅は保証人等が必要なるため、鳥取県居住支援協議会と一緒に別の住宅を探したり、保証人が必須ではない県営住宅を紹介する等で対応しています。</p>

○議題(1)第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

施策⑦ 医療と介護の連携推進

委員からのご意見等	事務局の回答
(C委員) <p>ケアマネの研修等でエンディングノートがあると助かるといった話がよく出る。もっと普及・啓発をしてもらって、それが活用できるといったことを啓発してもらえるとありがたい。</p> <p>ACPについて、そこまでの過程プロセスがとても大事であって、お互いの同意形成があってるべきもので、取ることが目標になってしまっていることがあるので、そのところの啓発もお願いしたい。</p>	(事務局) <p>エンディングノートについて、在庫の残りも少なくなっていますので、見直しを含めて検討させていただいている。</p> <p>ACPについて、言葉が一人歩きしている感がありますので、本来、中身が重要ということに気を付けて普及・啓発をしていきたいと思います。</p>

令和7年度 第1回倉吉市いきいき長寿社会推進協議会(議事録)

○議題(1)第9期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

施策⑧ 認知症との共生と予防

委員からのご意見等	事務局の回答
(D委員) 施策である「介護保険制度の持続可能な運営」と、取組状況の関係が分かりにくい。 介護事業所のサービス種別の転換がどう介護保険制度の持続可能な運営と関係しているのか？	(事務局) 介護保険制度の持続可能な運営について、必要な方に必要なサービスを提供できるよう、市民への制度の普及啓発を図るとともに、介護サービスの基盤整備が必要になります。また、介護保険料という財源に限りがあるため、介護サービスを適切に利用するよう適正化事業が必要になります。

○議題(2)令和6年度介護保険事業特別会計決算について

委員からのご意見等	事務局の回答
(A委員) 歳入の国庫支出金の事業費補助金が0円、歳出のいきいき長寿社会推進協議会費が0円となっているが説明をしてほしい。	(事務局) 国庫支出金の事業費補助金について、制度改革に係るシステム改修費の2分の1が国庫補助となっていますが、令和6年度は該当がなかったため、0円となっています。 いきいき長寿社会推進協議会費について、例年2月頃に開催していましたが、実績等がまだ確定していなかったことから、今年度になり実績が確定してから協議会を開催したため、0円となっています。

○議題(3)令和7年度介護保険事業特別会計予算について

委員からのご意見等	事務局の回答
(意見等なし)	-

令和7年度 第1回倉吉市いきいき長寿社会推進協議会(議事録)

○議題(4)令和6年度の介護事業所の開設と今後の施設整備について

委員からのご意見等	事務局の回答
(A委員) <p>高齢になって介護施設で転倒や意識消失の連絡が多くなったが、病院は高齢による身体の衰えで入院を要しないといった対応をされることがある。高齢化社会を迎えて、このような事例への対応も考える必要があるのではないか？</p>	(事務局) <p>入院、入所等されている方が様々おられますが、どのような状態になっても地域で暮らしていくこと、病院や介護施設を含めた地域で支えていくことを念頭に置きながら、支援していきたいと考えています。在宅医療と介護の連携を密にしながら漏れのないよう体制づくりをしていきたいと思います。</p>

○議題(5)第10期倉吉市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定スケジュールについて

委員からのご意見等	事務局の回答
(意見等なし)	-

○議題(6)地域包括支援センターの運営状況について

委員からのご意見等	事務局の回答
(意見等なし)	-

○自由記載ペーパーでの意見等

委員からのご意見等	事務局の回答
(副会長) <p>「高齢者が地域づくりの担い手として活躍できるように…」といわれた委員さんの意見に賛同します。</p> <p>①公民館は長い間、「教育係」として地域を見守つてこられ、突然、「福祉」をくっつけられてかなり困惑されている。</p> <p>②高齢者クラブは、個々人の価値観の多様化でまとまらない。まとめの必要もないと考える。</p> <p>③医療・福祉・介護は、それぞれ細かく制度が積み重ねられ、充実しすぎてわかりにくい。説明もしにくい。</p> <p>①②③の実情を理解し、自分はどうしたいのか、自主的に考えられる高齢者を増やしたい。</p>	(事務局) <p>地域が担う役割が大きくなっている中、お元気な高齢者を増やし、地域の担い手となっていただくことは、この計画でも目指しているところです。</p> <p>今後も健康づくりや介護予防を推進するとともに、生きがいづくりや活躍の場の拡充に努めると同時に、生活支援コーディネーターを中心に地域の問題を地域で解決できる体制づくりを進めていきます。</p>

令和7年度 第1回倉吉市いきいき長寿社会推進協議会(議事録)

(G委員) 身寄りのない方への支援について、具体的な取組はできていないではなく、要検討との意見を記載した方が良いのではないか？	(事務局) この計画においても、複数の施策に関連する課題であり、継続して対策を進めるとともに、計画への記載方法について検討します。 また、全国的にも大きな課題となっており、他部門・他機関とも連携して取り組んでいきたいと考えています。
--	--